

問い合わせ先

海洋情報部 技術・国際課

主任技術・国際官 鮫島 真吾

電話 03-5500-7122 (内線 2330)

平成 24 年 1 月 30 日  
海上保安庁



## 平成 23 年度海洋情報部研究成果発表会の開催について

海上保安庁海洋情報部は、「平成 23 年度海洋情報部研究成果発表会」を下記のとおり開催いたします。

海洋情報部では、幅広い分野の海洋調査や環境調査を実施し、海上保安業務に役立てるとともに、航海の安全等の社会に貢献する海洋情報提供を行なっています。

これらの調査観測等で得られた最新の成果や、調査観測に必要な技術開発の成果を発表するため、研究成果発表会を毎年開催しています。

今回は、海洋の調査観測等の成果発表に先立ち、自然災害科学の専門家である、東北大学 地震・噴火予知研究観測センターの松澤 暢教授に、「2011 年東北地方太平洋沖地震が与えた衝撃」と題した特別講演をしていただきます。

### 記

#### 1. 開催日時

平成 24 年 2 月 14 日 (火) 13:30~17:30 (13:00 開場)

#### 2. 開催場所 (別紙 1 「会場へのアクセス」をご参照ください。)

海上保安庁海洋情報部 国際会議室 (10 階)

東京都江東区青海 2-5-18 国土交通省青海総合庁舎

#### 3. プログラム

別紙 2 「海洋情報部研究成果発表会プログラム」をご参照ください。

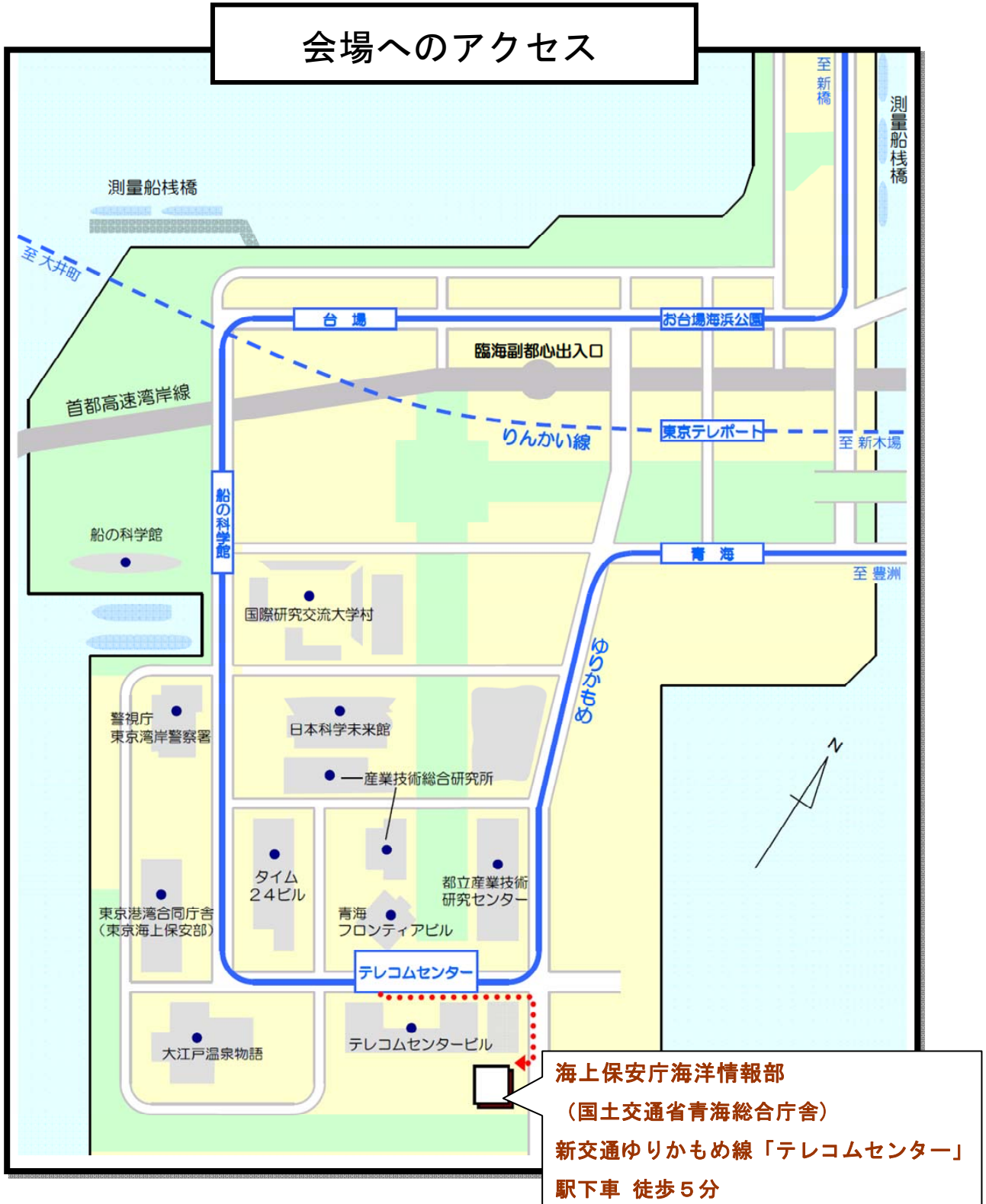
#### 4. 参加費等

入場無料です。事前登録の必要はありません。

#### 5. ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp>

# 会場へのアクセス



## 海洋情報部研究成果発表会プログラム

日 時：平成24年2月14日(火) 13:30～17:30 (13:00開場)

会 場：海上保安庁海洋情報部 国際会議室 (10階)

主 催：海上保安庁海洋情報部

共 催：一般財団法人日本水路協会

### 開会挨拶

13:30-13:40 海洋情報部長 加藤 茂

### 特別講演・水路新技術講演

13:40-14:40 「2011年東北地方太平洋沖地震が与えた衝撃」  
松澤暢 教授 東北大学地震・噴火予知研究観測センター

### 口頭発表

- (1) 14:40-15:00 「東日本大震災への対応」  
技術・国際課 松本良浩
- (2) 15:00-15:20 「海底地殻変動観測が捉えた2011年東北地方太平洋沖地震とその後の海底地殻変動」  
技術・国際課海洋研究室 佐藤まりこ
- (3) 15:20-15:40 「南海トラフにおける海底地殻変動と重心推定法による結果の検証」  
海洋調査課航法測地室 石川直史
- 15:40-15:50 休憩
- (4) 15:50-16:10 「南西諸島海溝南部における沈み込み帯の速度構造」  
技術・国際課 金田謙太郎
- (5) 16:10-16:30 「マリアナ海溝南部における蛇紋岩に伴う冷湧水系」  
技術・国際課海洋研究室 小原泰彦
- (6) 16:30-16:50 「小笠原諸島、西之島火山の地質学的特徴」  
技術・国際課海洋研究室 伊藤弘志

### 水路技術奨励賞受賞講演

- (7) 16:50-17:10 「航海用電子海図の視認性向上のための編集技術の開発」  
海上保安庁海洋情報部 林 和樹
- (8) 17:10-17:30 「海洋情報クリアリングハウスの構築」  
海上保安庁海洋情報部 長坂直彦
- 17:30 閉会

**ポスター展示 (13:00~17:30)**

- (1) 「大正・昭和に来島海峡で行われた主な潮流観測」  
技術・国際課海洋研究室 福島繁樹
- (2) 「漂流ブイデータを用いたオホーツク海の平均流の推定」  
技術・国際課海洋研究室 工藤宏之
- (3) 「測量船「拓洋」への海底地殻変動観測機器の装備及びデータ評価（速報）  
について」  
海洋調査課航法測地室 氏原直人
- (4) 「海上保安庁における航空磁力計の更新」  
海洋調査課航法測地室 宮寄 進
- (5) 「航空レーザー測深機における計測作業」  
海洋調査課 小野智三
- (6) 「AIS 情報の水路測量計画立案への活用」  
技術・国際課海洋研究室 尾花良裕
- (7) 「南西諸島弧南部前弧域の地質構造」  
海洋調査課大陸棚調査室 堀内大嗣

**10階フロア案内**

